

施策番号	0102		
施策名	低炭素型のくらしやまちづくりの実現		
概要	低炭素型のくらしやまちづくりのために、環境に優しいライフスタイルへの転換や再生可能エネルギーの利用など、省エネ省資源化に向けた取組を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市環境基本計画2016～2025, 京都市自動車環境対策計画(2011～2020), 京都市地球温暖化対策計画〈2011-2020〉, 京都市エネルギー政策推進のための戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	新規エコドライバーズ宣言者数(人)	b	a	21,561	21,821	20,000	109.1%	a	1.00
2	「エコ学区」ステップアップ事業における 学習会及び省エネ診断の実施件数(件)	a	a	78	99	60	165.0%	a	0.50
3	「DO YOU KYOTO?」関連イベント参加者数 (人)	a	a	1,005,911	855,651	890,000	96.1%	b	0.50
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年 度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	b	b	91 13.2%	273 39.5%	214 30.9%	72 10.4%	42 6.1%	692	-
2	太陽光発電や使用済みたばら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	c	c	34 4.9%	190 27.5%	283 41.0%	124 18.0%	59 8.6%	690	-
3	京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	c	c	35 5.1%	174 25.3%	301 43.8%	121 17.6%	56 8.2%	687	-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	市民の皆様や事業者の方々により展開されるエコドライブや環境にやさしい活動は、行政の取組だけでなく各々の意識啓発が大切であることから、市民の実感に重みを置く。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・平成20年度から毎月16日を「DO YOU KYOTO?デー」（環境に良いことをする日）と定め、市民や事業者の方々と一緒に、公共交通の利用促進や省エネなどの環境にやさしい取組を推進している。それらの施策が市民や事業者の方々へ徐々に浸透しているものの、市民の実感として幅広く行き渡っている状況にまではないことから、c評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	革新的パワーエレクトロニクス実装・事業化推進事業	18,598	19,310	かなり良い	産業観光局
2	市内産木材を使った京のまちなみ推進事業	0	30,972	-	産業観光局
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・自動車関連団体との連携を拡大し、エコドライブ推進月間における啓発イベントの実施や自動車運転免許新規取得者へのエコドライブ講習等の取組を行うことにより、引き続きエコドライブの普及拡大を図る。
・住宅用太陽光発電システム等の設置助成制度を実施するとともに、バイオマスエネルギー等の取組を推進することにより、再生可能エネルギーの普及拡大を図る。
・地域での主体的なエコ活動を支援する「エコ学区」ステップアップ事業の取組を進めるとともに、市民や事業者の方々に、引き続き毎月16日のDO YOU KYOTO?デーにおけるノーマイカーデー等の環境配慮行動の実践を呼びかけることにより、環境にやさしいライフスタイルへの転換を図る。
・以上のことにより、市民や事業者の方々と一体となった取組を継続していくことで市民生活実感の向上を図り、低炭素型のくらしやまちづくりを推進する。また、令和2年度は、「京都市地球温暖化対策条例」の改正及び次期「京都市地球温暖化対策計画」の策定に向け、更なる取組の検討を進めている。

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現					
指標名	新規エコドライバース宣言者数(人)						
担当課	地球温暖化対策室		連絡先		2 2 2 - 4 5 5 5		
1 指標の説明							
ふんわりアクセルやアイドリングストップなどの環境にやさしい運転方法である「エコドライブ」に取り組むことを新しく宣言した人数							
2 指標の意味							
低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい運転方法の普及状況を計る指標							
3 算出方法・出典等							
出典：事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	21,561	21,821	260人増	20,000	京都市自動車環境対策計画＜2011～2020＞に基づき、毎年2万人ずつの増加を目指す。	109.1%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-						
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：75%以上～100%未満 c：50%以上～75%未満 d：25%以上～50%未満 e：25%未満							
6 基準説明							
当該指標については目標達成の100%以上をa，以下25%刻みで基準を設定した。							
7 評価結果							
平成30 令和元 令和2							
b a a							

指標名	「エコ学区」ステップアップ事業における学習会及び省エネ診断の実施件数（件）					
担当課	地球温暖化対策室		連絡先		2 2 2 - 4 5 5 5	
1 指標の説明						
学区での主体的なエコ活動の充実や市民の環境意識を向上することを目的とした「エコ学区」ステップアップ事業における学区での学習会と省エネ診断の実施件数						
2 指標の意味						
学区における主体的なエコ活動状況を客観的に示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：「エコ学区」ステップアップ事業における学習会及び省エネ診断の実施件数の合計 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	78	99	21件増	60	京プラン実施計画 第2ステージに基づく当年度の目標値	165.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満						
6 基準説明						
当該指標については目標達成の100%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成30 令和元 令和2						
a a a						

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現					
指標名	「DO YOU KYOTO?」関連イベント参加者数（人）						
担当課	地球温暖化対策室		連絡先	2 2 2－4 5 5 5			
1 指標の説明							
「DO YOU KYOTO?」関連イベントの参加者数							
2 指標の意味							
「DO YOU KYOTO?」プロジェクトへの市民の参加度を示す指標			3 算出方法・出典等				
			出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度	
数値	1,005,911	855,651	150,260人減	890,000	令和2年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	96.1%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	910,000	令和2年度	94.0%			京プラン実施計画 第2ステージ
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満			6 基準説明				
			市民・事業者の皆様と共に，地球温暖化対策の取組を啓発することは，温室効果ガス排出量削減に大きく寄与する。「DO YOU KYOTO?」関連イベントに多数の方々が参加され，環境にやさしい取組の輪を広げることが重要であるため，100%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。				
7 評価結果							
平成30	令和元	令和2					
a	a	b					